

本単元の見本	友達やALTの先生のことをもっとよく知るために、相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。			
本時の見本	クイズの答えとなる友達について、何が好きかを尋ねたり答えたりしてヒント情報を集める。			
評価規準 目指す児童の発話例	<p>【本時の見届の視点】クイズの答えとなる友達何が好きかを、相手に伝わるように工夫しながら、尋ねたり答えたりしている。(思考・判断・表現)</p> <p>児童1: I like <u>pizza</u>. Do you like <u>pizza</u>? 児童2: Yes, I do./ No, I don't. 児童1: What <u>food</u> do you like? 児童2: I like <u>sushi</u>. 児童1: Oh, <u>sushi</u>. What <u>sushi</u> do you like? 児童2: I like <u>salmon</u>. 児童1: Oh, I see. Why? 児童2: Because it's delicious. 児童1: Oh, I see. / O.K. / Me, too./ Really? / Great.</p>			
準備物	指導者用デジタルブック、ワークシート			
時間	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	*指導上の留意点 ○評価(方法)
2 5 2	<p>① Greeting * How are you?</p> <p>② Review * Demonstration</p> <p>③ Aim of this lesson * Today's goal</p>	<p>◎あいさつをする。</p> <p>HRT: I like pizza. Do you like pizza? ALT: No, I don't. HRT: What food do you like? ALT: I like sushi. HRT: Me, too. What sushi do you like? ALT: I like salmon. HRT: Me, too. Why? ALT: Because, it's yummy. HRT: Oh, Nice!</p> <p>◎本時の目標を黒板に提示する。</p>	<p>◎あいさつをする。</p> <p>◎HRTとデモンストレーションを行う。</p>	<p>* 前時までのやり取りと違う点に気付かせる。</p> <p>* 児童に本時の見通しをもたせる。</p>
友だちの好きなことをさらに知ろう				
8 5 5 5 3 5	<p>④ Activity</p> <p>* 相手に尋ねたいことを3つ考える。 ・ 1人目の友だちに、好きなものを尋ねる。</p> <p>中間指導で、よい質問の仕方を知る。</p> <p>・ 2人目の友だちに好きなものを尋ねる。</p> <p>中間指導で、よい質問の仕方を知る。</p> <p>・ 3人目の友だちに好きなものを尋ねる。</p>	<p>◎ 3人の友だちについてクイズを作ることを伝える。</p> <p>◎ 1人目は、隣の席の友だちと好きなことなどについて尋ね合わせる。</p> <p>◎ 中間指導を行う。 中間指導の視点 【態度面】相手に伝わるような工夫: アイコンタクト, クリアボイス, 相手の言葉に反応するなど 【言語面】言いたかったけど言えなかったこと, 困ったこと。 【内容面】どのように尋ねると詳しく知ることができるか。動作や表情などの3点について丁寧に行う。</p> <p>◎ ペアを変えて、再度好きなものについて尋ね合わせる。</p> <p>◎ 中間指導を行う。</p>	<p>◎ 中間指導では、児童が言いたかったけど言えなかった表現について、児童が知っているような別の表現を使うことで推測させる。</p> <p>◎ 英語表現の支援をする。</p>	<p>* 相槌をうったり同意したり, リアクションを返しながら会話する楽しさを味わわせる。</p> <p>* 相手に伝わりにくいことは、身振り手振りなどを使って伝えることを促す。</p>
5	<p>⑤ Reflection * 振り返りを記入する。</p>	<p>◎ 本時の振り返りをさせる。 【リフレクションシートの視点】 ① できたこと・わかったこと ② 友だちのよさ ③ 次時にむけての思い ◎ 児童のよかったところを褒める。</p>	<p>◎ 児童のよかったところを褒める。</p>	